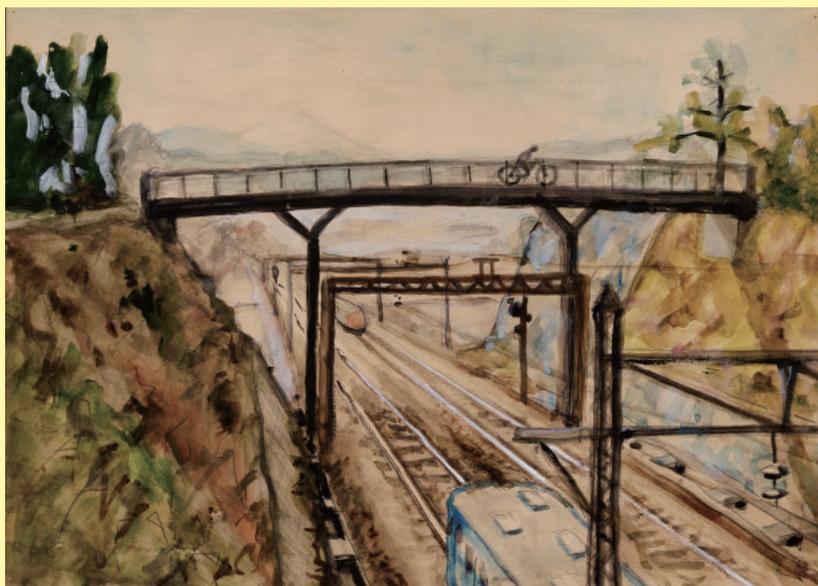


成城教育

第191号 2021年6月30日

特集 成城まるごとミュージアム



成城学園教育研究所

「表紙」のことは

事務局

山本利三郎「富士見橋風景」（一九七三年作）

国分寺崖線上の富士見橋から、西方の丹沢山地や富士山の見える眺望を描いた作品。喜多見方面からはロマンスカーが走って来ている。作者の山本利三郎（一八九九—一九八二年）は、小田急電鉄の取締役も務めた成城在住の鉄道技師で、ロマンスカー（SE車）の開発に尽力した。山本の義父は、高名な地震学者の今村明恒。今村は学園保護者で、成城の最初期からの住人であり、昭和八年の学園紛擾後には学園理事長に就任し、学園経営の再建に努めた。山本には、他に「落葉の道」という学園正門前の銀杏並木を描いた作品があり（第二十九回水彩連盟展入選）、成城自治会編『成城のまち』の内表紙、「成城憲章」の冊子（二〇二二年三月改訂版）の表紙を飾っている。この「富士見橋風景」は、以前は成城学園前駅の駅長室に所在したが、現在は教育研究所に移管し、成城学園歴史記念館一階ロビーにて展示している。

成城教育

第 191 号

©成城学園教育研究所

◆表紙…山本利三郎「富士見橋風景」(一九七三年作)

「表紙」のことは 事務局

口絵グラビア 成城の街MAP2021

2021年現在の成城学園キャンパス

カット 下橋克則

■特集 成城まるごとミュージアム

はじめに 事務局 5

巻頭言 特集に寄せて 岩佐光晴 6

学内の施設

成城学園歴史記念館 池田浩貴 16

「成城」関係の史資料と歴史記念館 荒垣恒明 21

成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー 十津守宏 25

初等学校での恐竜・化石ギャラリーの活用 古野博／長田柊香 29

中学校高等学校での恐竜・化石ギャラリーの実践例 小林雅弘／西本亜香音 34

成城大学民俗学研究所 林 洋平 39



地域の施設

| | | | |
|--------------------------|---------------------|-------|----|
| 世田谷美術館分館 | 清川泰次記念ギャラリー | 矢野 進 | 46 |
| 樫尾俊雄発明記念館 | 発明家の暮らした家 | 渡邊 彰 | 53 |
| 世田谷トラストまちづくり・ビクターセンター | | 高橋 誠 | 58 |
| （二財）世田谷トラストまちづくりの取り組み | | 佐藤 明子 | 62 |
| 世田谷区立成城みつ池緑地 | 旧山田家住宅（世田谷区指定有形文化財） | 中川 清史 | 66 |
| 洋館の多かった公園のような街、成城 | | 今田 洋行 | 71 |
| 成城五丁目猪股庭園 | | 福沢 誉子 | 80 |
| 世田谷区立次大夫堀公園民家園 | 守り伝える地域の文化財 | | |
| 福沢一郎記念館 | | | |
| 福沢一郎画伯の絵画「狩猟」 | | | |
| 学校・地域・博物館 | 学芸員の視点から | | |
| 地域とつくる博物館活動 | | 丸尾 依子 | 84 |
| 教育・学習拠点としての地域博物館と「まちづくり」 | | 早田 旅人 | 89 |
| コロナ禍における学校連携の新たな取り組み | | 松本 知佳 | 93 |
| 博物館の体験と効果―自己と向き合う学びの場― | | 岡田 伊代 | 96 |

連載 成城のグリーンインフラ (第五回)

歩いてみよう・感じてみよう、今・歴史 櫻井一彦 100

学園とコロナ禍

コロナ禍の入試広報活動 青柳圭子 109

教育研究所報

教室において対面で学ぶ意味 岩田一正 117

教育研究所への階段 166 木村大望 120

二〇二〇(令和二)年度 教育研究所会議録抄 122

二〇二〇(令和二)年度 教育研究所日録 127

編集後記 129